

令和5年度 農高・農大就農促進対策事業（農高就農促進対策助成）

事業主体名 鹿児島県立市来農芸高等学校

1 目的

本校生徒が農業に対して興味・関心をより一層深め、農業関係機関・団体との連携を促進することで、農業先進地視察を通して、広い視野と知識を身につけ、将来の農業後継者としてふさわしい人間を育成し、農村社会を支える人材の確保を目的とする。

2 実施状況

(1) 1年生先進地視察研修

本県における農業の実態や農政の現状を学習し、将来新規就農者及び地域産業の担い手を育成するために、JAさつま日置北中部営農センター、鹿児島県立農業大学校、有限会社フレッシュ吹上施設を見学し、農業に関する知識を深めるとともに就農に対する意識が向上した。



JAさつま日置中部営農センター

(2) 2年生先進地視察研修

1年次の専門教科の実験・実習などの学習成果を踏まえ、各学科での視察研修を行った。農業科では、株式会社カゴシマ農園、濱田酒造、県立農業大学果樹科等で栽培技術等について学ぶことができた。



うしの中山

畜産科では有限会社うしの中山や株式会社ナンチクで飼育技術や畜産経営等について学ぶことができた。

先進地農家や企業を視察することにより、高度な知識や技術を高め、日頃の授業や実習に活かすことができ進路実現に役立てている。

(3) 営農の門出を励ます会

農業大学校9名、4年制大学4名、農業関連企業への就職8名の計21名を対象に実施した。市長をはじめ、来賓の方々から激励のことばを頂き、生徒たちは決意を新たにしました。



営農の門出を励ます会

3 今後の課題、取組

本校は、在校生の約9割程度が非農家の生徒であるが、日頃の専門教科の学習や地域連携活動の成果もあり、入学してから農業に対して興味・関心が高まる生徒が多い。今後も生徒のニーズを踏まえた専門性の高い学習を取り入れて、生徒の進路実現に資する研修を実施したい。